



新春を迎えて

社団法人 岐阜県都市整備協会

会長 細江茂光



新年、あけましておめでとうございます。

清々しい平成22年の新春を迎え、謹んで会員の皆様に心からお祝詞申し上げます。会員の皆様には、日ごろから土地区画整理事業をはじめ、まちづくり事業の推進にご尽力賜り厚くお礼申し上げます。

さて、世界的な金融不安、企業倒産の増加、雇用問題、デフレスパイナル等により社会生活環境が厳しい中、昨年秋にはドバイ・ショックによる株価急落や円高などが発生し、我が国の経済は極めて深刻な状況にあります。

また政治では、民主党中心の連立政権が誕生するなど、大きな変化があり、事業や財源の見直しによる公共事業の大幅削減が予想され、まちづくり事業にも様々な影響があると考えられます。

こうした情勢ではありますが、市民生活の安心や安全を確保するため、市街地開発事業などを活用したまちづくりは大きな役割を果たしていくことが期待されております。会員の皆様におかれましては、これまで事業費の縮減や保留地の早期処分など、効率的な事業運営に努力されておられますが、引き続き今後は地域住民の情熱と創意工夫をこれまで以上に活かされ、魅力的なまちづくりに取り組まれますことを心よりお願い申し上げます。

当協会といたしましても、このような状況変化に対応すべく、会員の皆様のご要望をうかがいながら、まちづくり活動の新たな取り組みや情報化の推進などを積極的におこなってまいりたいと考えます。

今後も、まちづくり活動の支援、提案をつうじて信頼される協会を目指しまして、役職員一同、一層努力する所存でございますので、皆様方の温かいご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

本年が皆様にとりまして、実り多き年となりますことを祈念いたしまして、年頭のごあいさつといたします。